

「インフルなど感染症対応プロジェクト説明会」に参加ー東京都主催、東商・医師会共催ー

～当社は「目標達成企業11社」にリストアップ～

2017年10月30日

セリングビジョン株式会社

当社は、10月26日開催された「感染症対応能力向上プロジェクト事業説明会（東京都主催、東京商工会議所、東京都医師会 共催）」に昨年に引き続き出席いたしました。

基調講演の「職場における感染症対策」（東京医科大学病院 濱田教授）では、最近のインフルエンザをはじめとする国内感染症対策と、海外渡航者の感染症注意事項等について話がありました。

季節性のインフルエンザについては体温が37.5℃以上ある社員への対応や休暇取得の社内規定作成の必要性について、結核については罹患率が高齢化等で先進国では最も高く、空気感染で10メートル離れていても感染の可能性があり症状も見付けづらいこと、ノロウイルスについては吐しゃ物等に潜むウイルスは1週間生存しており要注意で、アルコール消毒は効きにくいので次亜塩素酸の消毒がよいこと、HIV・梅毒については発生が増加傾向にあり、かつ意識の低下が懸念されていることなどの話がありました。

海外勤務者にも渡航前の情報提供・適切な予防接種（黄熱、マラリア・狂犬病等）が必要であり、新型インフルエンザ（H7N9 強毒性）の発生も危惧されており、こうした感染症への対応不足により会社の事業経営への多大な損失を招きかねないことを認識することが重要であるとのことでした。

こうした状況に対応するため、各企業における職場の感染症に関する知識を深め、予防対策を実施してもらう必要があり、平成27年度より「感染症対応力向上プロジェクト」が進められています。

このプロジェクトでは、参加した企業を「協力企業」、目標達成した企業を「達成企業」として東京都が公表し取組みをPRする仕組みになっており、弊社も東京商工会議所の会員として昨年度エントリーし従業員知識習得とBCP（事業継続計画）作成を達成し、東京都福祉保健局HPに「目標達成企業11社」の一つとして現在も掲載されています。

（東京都福祉保健局HP <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/project/index.html>）

インフルエンザの患者数は、今シーズンも下図の通り非常に高い水準で推移しており大流行が懸念されています。国によると今シーズン国内で製造するインフルエンザワクチンは、昨シーズン使用された数よりも少ない見通しで、ワクチンの供給が需要を下回る時期があるとも予測されています。

また、新型インフルエンザの発生も危惧されており、現在中国を中心に発生している鳥インフルエンザ（H7N9）が遺伝子変異によりヒト-ヒト感染となって、パンデミックが起こる可能性は否定できないといわれています。

弊社では、高機能・高性能マスクや、ノロウイルス対策向けの防護服等をはじめ感染症対策用品、防災対策用品を豊富に取りそろえておりますので、どうぞお問い合わせください。

<お問い合わせ>

セリングビジョン株式会社

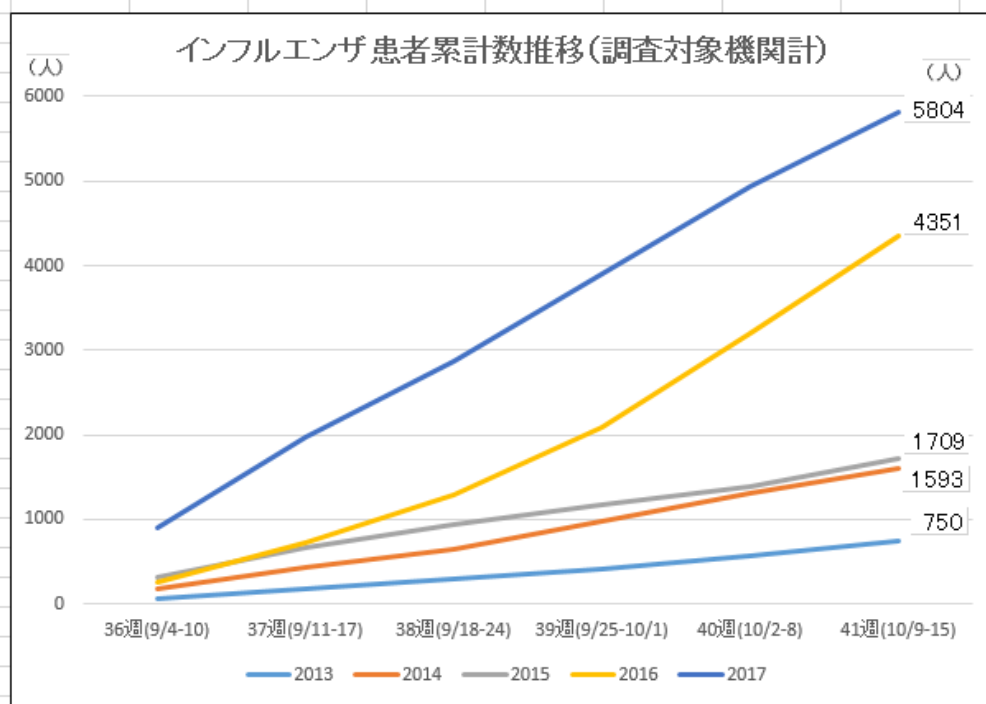
担当：田口

〒105-0003

東京都港区西新橋 1-9-1 ブロドリー西新橋ビル8F

TEL: 03-5251-3101

FAX: 03-5251-6020



*国立感染症研究所の調査。全国約5千の医療機関で、1週間に受診した患者数の累計値。